



## アカデミアと産業界の連携

奈良崎 愛子<sup>†1,†2</sup>

### Academia and Industry Collaboration

Aiko NARAZAKI<sup>†1,†2</sup>

2024年1月に開催した本学会年次大会では、初日に「50周年記念 特別企業ポスターセッション」を新たに企画させていただいた。レーザー分野におけるアカデミアと企業の接点を増やしたいという思いに端を発しており、「日本の学会は、企業と大学(特に学生)の交流が欧米に比べ少ないように感じています。本イベントにより、多くの学生や研究者が、将来就職や共同研究で関わる企業の方々と、研究開発を通じて良く知り合う機会としてご活用いただければ、先端研究にも良いフィードバックとなると考えております。」とお誘いに、複数の企業から快く応じていただきました。当日は、私もご発表の企業の皆様とお話しさせていただき、製品や開発の具体的な話はもちろん、優秀な人材確保の難しさなど気軽な世間話もでき、有意義で楽しい時間を過ごせました。この場を借りて、ご参加いただいた皆様と、企画を支えてくれた実行委員の皆様に、あらためて感謝申し上げます。

なぜアカデミアと企業の接点を学会でも増やしたいと考えるのか、これは私がレーザー加工研究者として欧米主催の国際/国内会議に参加した際の経験に起因するところが大きいかもかもしれません。我が国の学会に比べ、企業からの講演頻度が高いのです。例えば、今年6月に欧州のClub Laser et Procédésという産業向けレーザー加工協会が主催する2日間の会議に招待いただき参加したところ、全講演40件の内、企業からの講演が約3分の2を占め、参加者約180名の半数以上は産業界(レーザー光源・周辺機器メーカー、自動車メーカーなどユーザー企業)からでした。協会が仏拠点のため、仏語の講演も許され、全講演は英語と仏語に同時通訳されます。自分の講演が仏語に同時通訳される、仏語の講演を同時通訳の英語で聴講するという初めての貴重な体験をしました。もちろん前記は極端な例で、Conference on Lasers and Electro-Optics(CLEO)やSPIE Photonics WESTなど光関係の著名な会議はアカデミアが牽引しています。ただし、その中でも、企業講演を聴く機会や企業の方とお話する機会は、我が国の学会より多い様に思います。企業講演の性格として、製品化前の研究開発成果発表は一般的に難しく、企業コンセプトや製品の紹介が主となる場合が多くなります。これらは、アカデミアにとっては製品開発コンセプトや過程を知る貴重な機会となり、将来の社会実装を見据えたアカデミアの最先端研究開発にも有用な情報であると考えています。特に学生や若手研究者にとって、アカデミアと企業の多面的な視点での研究開発について早くから触れることは、我が国の研究人材の育成にとっても効果的ではないでしょうか。

そしてアカデミアと企業の接点が増えれば何が生まれるのか、前述の多面的な人材育成など色々な効果が考えられますが、その一つに「産学の価値(勝ち)ある連携」を期待しています。我が国の科学技術における国際的なプレゼンスは残念ながら低下傾向にあると言えます。文部科学省科学技術・学術政策研究所が世界各国の科学技術活動の実態を調べた「科学技術指標2023」では、我が国は、自然科学分野で国際的に注目される引用回数「トップ10%補正論文数」で前回より一つ順位を下げて13位、極めて注目度の高い「トップ1%補正論文数」は世界12位、年平均の論文数は世界5位と報告されています。今後のプレゼンス向上のためにも、学会の役割は益々大きくなっていき、そこを起点とした「産学の価値ある連携」はその後押しになるはずです。これまでもレーザー学会ではアカデミアと産業界の双方から人材を迎え運営を行っておりますが、今まで以上に、学会がアカデミアと産業界の研究交流ならびに人材交流の場として機能することで、我が国のレーザー学術と産業の発展に一層貢献できることを願っています。

<sup>†1</sup> 産業技術総合研究所総括研究主幹(〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央2群)

<sup>†1</sup> Principal Research Manager of National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), Central 2, 1-1-1 Umezono, Tsukuba, Ibaraki 305-8568

<sup>†2</sup> 一般社団法人レーザー学会理事

<sup>†2</sup> Director of The Laser Society of Japan